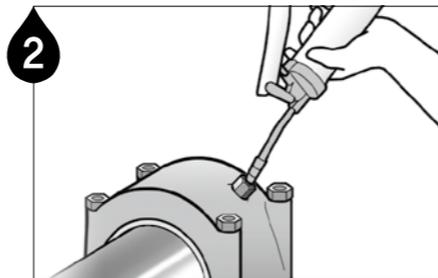
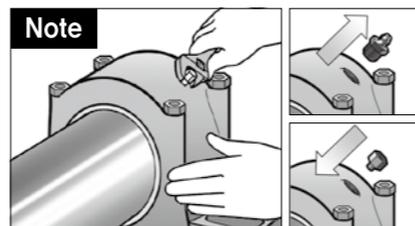


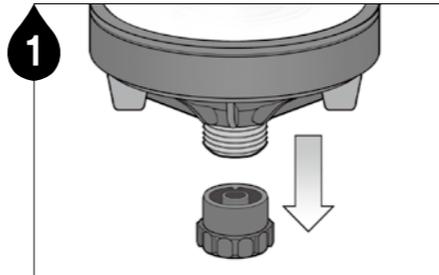
1 給油口の周りの汚れを取り除いてください



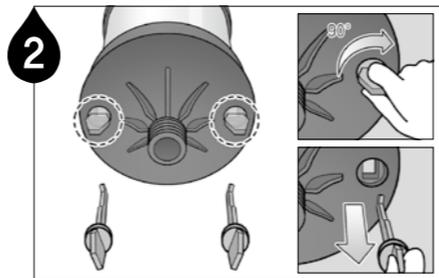
2 手動グリースガンで給油口からの経路に詰りが無いことを確認してください **注1** 手動グリースガンで給油口の硬化したグリースを除去してください **注2** 本体に充填されているグリースと同じか適合性のあるグリースを手動グリースガンに使用してください



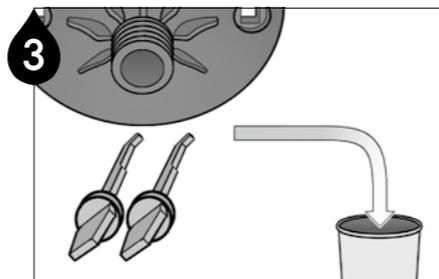
Note グリースニップルを取り外し、適切なアダプターを装着してください



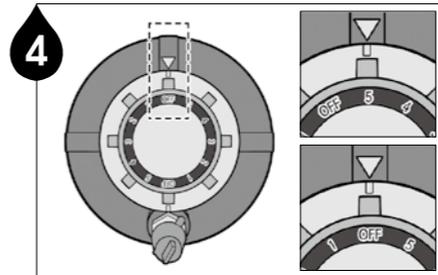
1 グリースニップルキャップを取り外してください



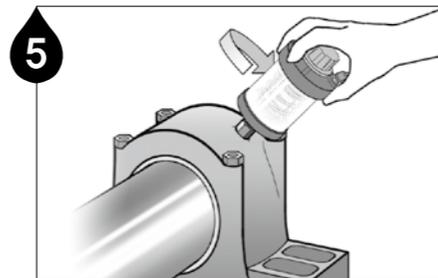
2 給油装置下部のピストンロックを外します



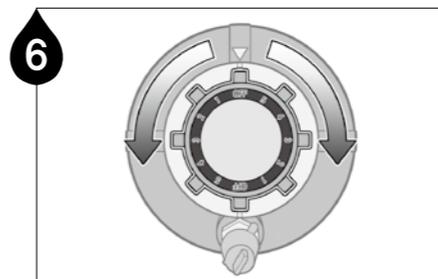
3 給油装置から取り外したピストンロックは廃棄してください



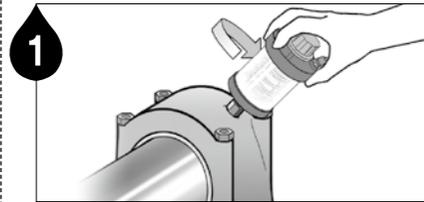
4 コントロールノブを「5」に設定して、給油が正しく行われているかを確認した後に、「OFF」に設定します



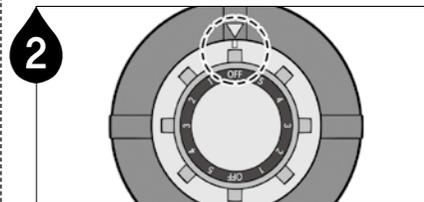
5 潤滑箇所に設置してください



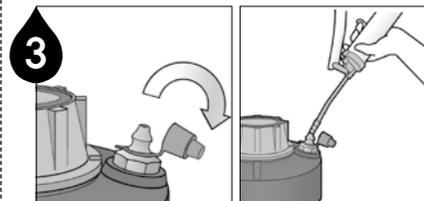
6 コントロールノブの「1」～「5」の中から必要な給油速度を設定してください



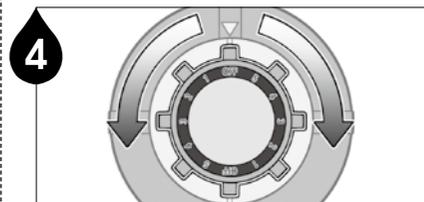
1 潤滑箇所に設置してください



2 コントロールノブを「OFF」に合わせてください



3 赤色のグリースニップルキャップを外し、ピストンリングが給油装置のタンクの底にあるレベルインジケータに到達するまで充填してください。レベルインジケータには、この線を下回らないように充填して下さい (Do not fill below this line)と明記されています。



4 コントロールノブの「1」～「5」の中から必要な給油速度を設定してください

グリース充填

- ▶ 高圧およびエア駆動 / 電動グリースガンによる再充填をしないでください
- ▶ グリースガンでグリースを充填する際には、リザーバー内の空気を給油装置の中央スリーブを通じて出してください。
- ▶ 過剰充填を避けてください。過剰充填により給油装置が破損する場合があります。ピストンリングが給油装置のタンクの底にあるレベルインジケータに到達するまで充填してください。レベルインジケータには、この線を下回らないように充填して下さい(Do not fill below this line)と明記されています。

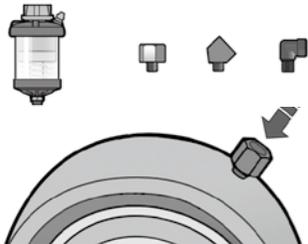


注意

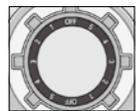
- ▶ 「時間」の設定は出来ません。最適な給油量は吐出量の記録を取ることで測ってください。
- ▶ 吐出量の設定は周辺温度環境や潤滑箇所の背圧を考慮してください。
- ▶ グリース量に変化のない場合や給油箇所を長く確認していない場合。

1. コントロールノブが「OFF」になっていることを確認し、給油箇所から給油装置を取り外してください。
2. コントロールノブを「5」に設定して、給油が正しく行われているかを確認してください。
3. 再充填する前に残ったグリスを排出してください。グリースが吐出されない、もしくは排出されない場合、上記の過程を繰り返してください。
4. 残存グリースが硬化したことで吐出されない場合は、給油装置を廃棄してください。
5. 給油装置に再充填して、コントロールノブの「1」～「5」の中から必要な給油速度を設定してください。

取付方法



シングルポイントの給油装置としてのみご使用可能です。直付けのみご利用可能です。



- ▶ コントロールノブの位置はバルブより発生するフローレベルを表していません。

商品の保存可能期間と保証条件

商品の保存可能期間は生産日より1年間です。保証は、材料欠陥、製造に起因する不具合にのみ限定され、商品の誤使用、不適切な使用に起因して発生した付随的な損害については補償いたしません。保証期間は、納入日より1年間です。

PULSARLUBE

The World Leader of Automatic Lubrication

総輸入販売元

 株式会社 シー・エス・シー
COMMUNICATION SCIENCE CORPORATION

〒102-0075 東京都千代田区三番町3番地8 泉館三番町4階
TEL : 03-5215-0117 / Fax: 03-5226-0427
www.pulsarlube.jp

